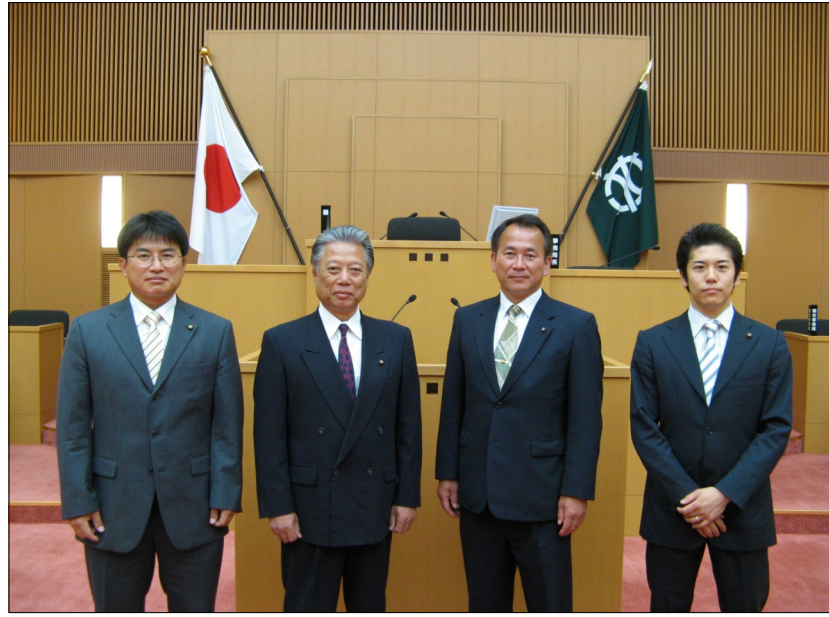


鈴鹿市議会
会派

すずか倶楽部 だより

第2号

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 鈴鹿市議会事務局 TEL 382-7600 会派ホームページ <http://www.suzuka-club.jp/>



鈴鹿市議会 議場にて: 左から中西大輔、原田勝二、後藤光雄、南条雄士

会派長挨拶

アメリカにオバマ大統領が誕生し、「チェンジ」のために発言を続けてい
日本でも政権交代が起こり、世の

中のあちらこちらで「チェンジ」が叫
ばれています。

鈴鹿市議会は平成22年2月22日
現在、31名の議員で6会派と2諸派
で構成されており、すずか倶楽部
は、3期目の原田勝二(21年度 副
議長)2期目の後藤光雄(議会運営
委員会 副委員長)、南条雄士(生
活産業常任委員会 委員長)1期目
の中西大輔(建設水道常任委員会
副委員長)の議員4名が、それぞれ

の経験と個性を活かし、鈴鹿市の

鈴鹿市政も、市民の安心安全な
暮らしを保証することはもちろん、
夢を持って暮らせるまちづくりが行
われるようにと、すずか倶楽部は願っ
ています。

平成20年度、21年度の会派の取
り組みの一部を、すずか倶楽部だ
より第2号としてまとめました。

お読みいただいたご意見、鈴鹿
市議会、鈴鹿市への要望などを、
ぜひお寄せください。

すずか倶楽部 会派長 後藤光雄

F1復活!!

平成21年10月、3年ぶりにF1が
鈴鹿に帰ってきました。

復活開催にあたり、鈴鹿サーキットはピットビルやグランドスタンド等を大改修し、鈴鹿市はF1経済波及効果を調査し、鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会を立ち上げるなど、今までに無い万全の体制で臨みました。

F1開催における経済波及効果は、国内293億円、三重県内119



億円、鈴鹿市内77億円ということで、F1開催が国家的に大きな意義があることを確認できる調査であったと思います。

また、地域活性化協議会が、国や県、周辺市町、観光・経済・交通関係団体等と手を組み、渋滞緩和や安全確保、情報発信やおもてなし等々、様々な分野でF1開催をサポートしたことによって、これまで以上にスムーズなF1開催が出来たと評価します。

このような体制作りのきっかけとなったトヨタ+富士スピードウェイがF1から撤退するのは皮肉なことですが、今後は中国や韓国など周辺開催国に負けない体制で観客を受け入れられるよう、更なる努力を求め、様々な提案を続けたいと思います。

市立図書館のこれから？

～3市の視察から～

私たちは、鈴鹿市の図書館行政のあり方を平成21年度会派視察のテーマとして取り上げ、3自治体の図書館を視察しました。

東京都北区中央図書館は、旧自衛隊敷地内の赤レンガ倉庫を図書館の一部として活用し、「区民が活動する」図書館というコンセプトのもとで、図書館のボランティア組織が、図書館の中にスペースを持って活動しています。運営については教育委員会が所管し、学校図書館との連携も重視して

います。蔵書管理には、世界初となるICタグを導入し、1冊あたりのコスト低減と、蔵書管理を容易にしています。

千代田図書館の特徴は、指定管理者制度を導入し、民間事業者の連合体によって運営されていることです。館長の新谷さんは、横浜市での司書経験などを持つ方で、図書館の方向性として「これからの図書館はまちを元気にする」というコンセプトが重要で、図書館職員には司書としてだけで

変わるに鈴鹿!

～不正受給から考える～

鈴鹿市の大きな話題に、生活保
護費不正受給事件があります。

新聞報道でもありましたが、2月15日開催の市議会全員協議会で、総額58,498,321円の不適正金額があり、その解決については市民負担がないように取り組むと報告されました。

鈴鹿市生活保護調査委員会報告書でも「組織風土改革」の必要性が取り上げられているように、鈴鹿市役所全般に広まっていると思われる市行政の姿勢を、今後どう変えていくかをチェックしたいと思います。

報告書での「職員が、規律を重んじながら、仕事を通じて市民全

体に奉仕するという公僕の誇りと使命感を持って、・・・」という一文

や、「組織風土改革は、市長自ら、先頭に立って取り組んでいただき、自分の部下を、市役所の、そして市民の財産に育てていただきたい。それが組織のトップとしての管理責任・監督責任というものである。」という指摘は、鈴鹿市政全般に当てはまることと思います。

風通しの良い行政、市民の立場に立つ行政の大切さ、鈴鹿市においてそれらがおざなりにされていたことを浮き彫りにさせたということで、今回の事件は大きなインパクトを鈴鹿に与えています。

はなく、ITの知識なども含めて、他のスキルを持った人が働くことが必要だとおっしゃっていました。

函館中央図書館では、公立函館大学と連携して、職員自らが写真資料のデータ化を行っています。ここでデータ化された資料は、インターネット上に提供され、学術的な研究だけでなく、函館出身の人が懐かしく覗くなど、さまざま



千代田図書館にて新谷館長と

用途にデータが利用されているということです。また、絵はがきのデータ化について、市民ボランティアにお願いしているとのこと。

すずか倶楽部ではこれらの視察をもとに、今年度から導入することになった議員間討議のしくみを活用して、議会の側から鈴鹿市における市立図書館の今後のあり方を聞きたいと考えています。



どうする?鈴鹿市立図書館

♠ モータースポーツと「おもてなし」



富士スピードウェイにて

F1開催についてはライバルでしたが、日本のモータースポーツを盛り上げるということに関しては同志である静岡県小山町の富士スピードウェイ(FSW)に平成20年4月、視察に伺いました。

当日はFSW役員だけでなく、小山町議会議長にもお出迎えいただき、F1を始めとした様々なモータースポーツ

ツイベント開催に関する「おもてなし」について、様々な問題とその解決法を話し合いました。

また、旧コースの30度バンクや、コントロールセンター、メディカルセンター、ピットビル等、全ての施設を見学させていただき、更には、最新鋭のマーシャルカー、レクサスIS-Fでのレーシングコース同乗走行など、実際に最高の「おもてなし」も体験させていただきました。

来訪者に対するおもてなしだけでなく、いかに市民がモータースポーツを楽しむことができるかということも今後の課題であるので、今後の参考になる大変貴重な体験をさせていただいた視察でありました。

♣ 藤枝にも「白子」が!

今から420年ほど前の1586年織田信長が「本能寺の変」で明智光秀らに討たれた時、徳川家康は、信長に駿河の国をもらったお礼に安土城、堺、京都へとかう途中でした。

明智光秀らに追われた徳川家康は奈良から伊賀を越え白子まで逃げてきて、小川孫三という武士の計らいで小舟をこいで無事対岸の常滑へと逃げ、岡崎にたどり着くことができました。助けられた家康は、白子に帰ることができなくなった小川孫三を藤枝の地に住ませ、御朱印を授け、その地を白子町と名付け感謝の意

を表してくださったという古事から、二つの白子町の交流を始めるために藤枝を訪ねたという愛宕公民館の事業を知り、鈴鹿の子どもたちにも、町の歴史や、未来を考える機会作りに活かさないかと静岡県藤枝市白子町商店会の方々と懇談をするために藤枝市文学館を訪



すずか倶楽部 活動報告 平成20-21年度

ご意見は・・・電話 382-7600 ファクス 382-4876 まて (市議会事務局)

♥ ♣ 会派とは ♠ ◆

議会は本来、立法機関であり、地方議会の場合、行政権に対するチェック機関というよりもむしろ条例制定機関として、第一義的な役割を有しています。地方自治法第112条には、条例制定の前提である議案提出権について、以下のような記述があります。『議案を提出するに当たっては、議員の定数の12分の1以上の者の賛成がなければならない。』これを定数32人の鈴鹿市議会に当てはめると、議案を提出するには3人以上の賛成が必要となります。よって鈴鹿市議会では、3人以上の議員で構成された団体を『会派』として認めており、会派を構成していれば、その会派だけで議案を提出できることになります。議員としての権能をより大きく発揮する為には、会派を構成することが必須であるといえます。

♣ 町の景色も市民の財産

住む町の景色・景観も市民共有の財産ですが、看板、店舗、建物の色使いなどは周りとの調和など気遣いされずにきました。現在は三重県の景観条例によって看板や建物の色使いなどに制約をくわえられるようになりましたが、鈴鹿市独自の景観条例を策定しようとする動きがあり、秋田市の景観条例制定の

経緯を尋ねました。約9haの区域を都市

景観地区に指定して、建築行為等の届出により地区内の良好な景観形成に向けて誘導している状況でしたが、川と通りが調和したまちづくりのために点滅灯・回転灯の設置はできず、色彩、素材にも景観的配慮を求めており、新築、改築には限度額を設けた補助金の助成制度もある取組は参考になりました。

♣ みんなでまちづくり

函館市と言えば夜景に代表される旧市街の歴史的景観の美しさ。この旧市街のある西部地区に人口の減少、高齢化、空き家、空き地の増加、生活利便施設の減少、地域コミュニティ活動の担い手不足という問題が起こり、恵まれた環境、潜在的な魅力を生かして街を再生していくまちづくり事業の取り組みを、伺ってきました。

生活の利便性・快適性を回復させ、住む人にとって魅力ある町とする施策が必要であるとして、まちの将来像会議を設置し、まちづくり構想を策定し、まちづくり交付金を活用した事業を実施しているとのことでした。鈴鹿市でも、将来像会議を行ない、白子駅前広場の改修が活かされるような施策が必要であると感じています。

♠ 燃料電池自動車「FCXクラリティ」に乗ったヨ!



低炭素社会の実現に向けた次世代エネルギー自動車として、燃料電池自動車「FCXクラリティ」の開発を行っている本田技研工業の青山本社に、平成21年10月、視察に伺いました。燃料電池自動車は、水素を原料に発電した電力を動力とする自動車、ガソリン車等と違い化石資源を使わないため、CO2をはじめ環境負荷物質を走行時に一切排出しないという特徴を持っています。また、FCXクラリティは航続距離が620kmとガソリン車並みに長く、水素の充填だけで動くので、航続距離が160km程度と短く充電が長時間必要

な電気自動車に対しても、優位性があります。実際に同乗させていただきましたが、ガソリン車2400cc級のパワーと3000cc級のトルクがあるという言葉通り、「キューーン」という音とともに、素晴らしい発進加速を体感することが出来ました。問題はコスト面で、現在の生産コストは1台当たり約1億円(!)。量産すれば1000万円程度までは下げられるようですが、それを2015年までに500万円にすることが目標ということでした。本田技研工業では太陽電池パネルも開発しており、究極の目標は、太陽光発電を家庭用燃料電池の動

力源として家庭の電力と給湯熱を賄い、さらに燃料電池自動車用の水素精製の電力をも賄うことだという説明を受けました。これは、家庭で使うエネルギーを全て自然エネルギーで賄うという夢のような話で、まさにHONDAのCMで耳にする「The Power of Dreams」を感じ取ることが出来るお話でした。鈴鹿市は本田技研工業と密接な関係を持ち、また、燃料電池開発特区でもあるので、HONDA製の燃料電池自動車や家庭用燃料電池への将来の支援体制を考えさせられる視察でありました。

♠ 武道教育について

新学習指導要領が平成20年3月に告示され、平成24年度から中学校体育における武道の必修化が決定しました。平成18年12月に教育基本法が改正され、その目標には伝統文化の尊重が挙げられていることから、武道の必修化はその具現化策であると思われます。

すでに鈴鹿市でも、武道場がある白鳥中学校で平成18年度から体育の授業に剣道が取り入れられ、また平成21年度からは、文科省の地域連携指導実践校として平田野中学校と天栄中学校でも剣道の授業を行っております。さらに、移転改築される神戸中学校にも武道場が建設されるなど、武道必修化に向けた素地は着々と整ってきております。今後は、中学校だけでなく、義務教育の始まる小学校から武道の授

業を取り入れることも考えられることから、文部科学省の「小学校における武道指導実践事業」の実践校として、全学年で剣道の授業を行っている青森県大間町立大間小学校に平成21年10月、視察に伺いました。

校長先生の話によると、大間町は非常に剣道が盛んな町で、大間小学校では、50年前から高学年の特別クラブ活動に剣道を取り入れており、8年前からは保護者・子供の強い要望により低学年からも特別クラブ活動を行っているということで、指定校として委託される環境が整っていたそうです。

しかしながら、大間小学校は全校生徒が300人おり、他県の小規模校と違い、指導者の確保など、300人全員が剣道の授業を受けるという体制づくりに苦労したということも伺いました。武道指導の効果としては、「子供



大間小学校での剣道の授業風景

達の挨拶に心がこもり始め、掃除中の様子も一生懸命さが伝わるようになった」、「集中力・忍耐力が身についた」、「他を思いやる心が身についた」、「大きい声を出すので積極性が身についた」等々、精神面で成長を非常に感じられるようになったということでした。実際の授業で、子供達が正座で先生の話を聞き、面紐・胴紐を体

の後ろで結び、大きな声を出して相手に打ち込むなど、日常生活ではあまり経験できないことを真剣に行っている姿を見て、校長先生の言葉は本当だな、やはり日本人は武道だな、と感じました。今後、小学校での武道教育が全国に普及して、鈴鹿市でも小学生が武道の授業を受ける日が来ることを期待できる視察でした。

◆ 自治は住民の手で

宮崎市では昨年4月から、納税者一人当たり500円を地域コミュニティ税として徴収、それを人口比に応じて地区別に配分し、各地区で地域づくりに活用できるようにしていま

す。配分されるお金については、人件費などに使うことができないなどの制限があります。課題は多い制度ですが、これからの住民自治の仕組みの中では、ひとつの参考になるかもしれません。

♥ 安心安全のために

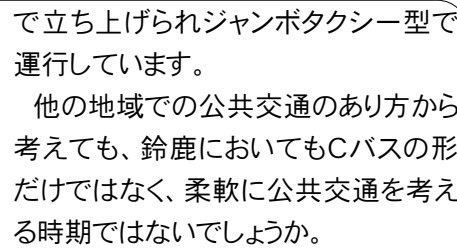
議会の一般質問で、通学路となっている縄手道の街灯整備についての遅れを指摘し、安全な通学路の確保をお願いしておりますが、住居地区は35～50m毎に、住居地区以外は70m毎に防犯とを設置するよう

設置基準を作りなおしたのですが、自治会管理灯への補助金制度、住宅地以外の防犯灯は市の直轄灯として費用のすべてを市が負担することなどを定め、14,318基(内、直轄灯は2,442基)の防犯灯が設置されていました。

視察結果が生かされ「鈴鹿市集落間防犯灯設置費補助金交付要綱」が、平成21年3月27日に告示第32号として改正されました。今後、集落間の犯罪防止、特に通学路の(学びのともしび)*教育委員会調査(1,178灯)が順次設置されることになります。

◆ 地域の足を考える

宇都宮市では、同市内の清原地域での高齢化と公共交通の減少に対応して、地域住民主体の形で、ジャンボタクシー活用による地域内公共交通として、「清原さきがけ号」を運航しています。実施までの経緯として、まちづくり組織としての清原地域振興協議会において、公共交通問題特別委員会が行うなど取り組み、結果「きよはら地域内公共交通運営協議会」が住民



宇都宮市職員のみなさんと

で立ち上げられジャンボタクシー型で運行しています。他の地域での公共交通のあり方から考えても、鈴鹿においてもCバスの形だけではなく、柔軟に公共交通を考える時期ではないでしょうか。

♠ 完全米飯給食のススメ

平成20年7月、新潟県新潟市に完全米飯給食について視察に伺いました。

子供達の健康と日本の文化を守り、食料自給率を向上させるため、鈴鹿市の小学校給食の完全米飯化に向け、今後も提言を続けたいと思います。

◆ 市民のために職員改革

宮崎県都城市では、永峯誠市長が市政の改革に取り組んでいます。その中で、市長のマニフェストおよび重要施策の実現のため、市長が政策メッセージを各課に伝え、政策ミッションのもと各々が「部マニフェスト」を定めています。同時に、職員の資質向上として「部マネジメント

改革」を行い、市民サービス向上にも取り組んでいます。説明の際に、都城市議会議長と担当課職員の説明を受けましたが、今回の部マニフェスト改革と、部マネジメント改革が一定の効果を上げていることを感じることができました。

♣ 市議会もチェンジ!

地方自治、議会自治と言われて、国と地方の在り方、市民と行政の在り方、行政と議会の在り方、市民と議会の在り方...いずれも変化を求められています。市長と、議員。選挙で選ばれる二元代表制の本来の在り方を考えることで、議会改革、議会自治条例を策定し成果を上げている会津若松市議会を訪問し、策定に尽力さ

れた議員に直接話を聞いてきました。議会を、会派・党派を超えた合議体としての態勢に進化させ、市民からの意見を広聴、意見交換をして、議会としての回答を持ち、行政に対し、結果を広報していくというスタイルが実行され始めていました。議会基本条例、議員政治倫理条例の同時制定の成果だということでした。鈴鹿市議会の改革にも取り組もうとしています。

◆ 市政へ積極発信しています

すずか倶楽部では、第5次総合計画の第2期行財政計画が策定された際に、市議会会派として執行部と意見交換を行いました。行政

執行部とこのように話し合う機会を持つことは、会派の議会活動として意義のあることと思います。今後も積極的に市政に向け発信します。



鈴鹿市議会 副議長
はらだ しょうじ
原田 勝二 (3期目)

1944年(昭和19年)9月5日生まれ

♥人は他力によって生かされる

平成21年度の副議長として、皆様にご厚情を頂き、無事に10カ月目を迎えました。

昨年5月、市議30名のご推薦を賜り、議場での就任挨拶で万感胸に迫るものがあり、おもわず涙したことを思い出します。

議員活動は、家族の協力、市民の皆様の支えによるものですが、改めて「他力」により生かされている自分を再認識いたしています。

鈴鹿市は、人口20万人を超え県

内屈指の産業都市です。

私は、政治・経済・文化は、常にバランスが大切だと思っています。

いま鈴鹿市に求められることは、経済力の強化と共に「市政運営の組織風土改革」と、「議会の改革」だと思います。

人が全ての課題を解決する世界で大切なことは「人は他力により生かされる」この言葉です。

私は、多くの方々はこの想いを伝え課題の解決に取り組みます。

原田勝二 Profile

鈴鹿市若松西6丁目に在住

連絡先 TEL 059-385-6328

物づくり・法の番人・営業の現場・会社経営を経験の後、企業を退職
54歳で初当選(3期目)

詳細は下記のホームページにて!

<http://www.mecha.ne.jp/~shoji-h/>

原田勝二

検索



鈴鹿市議会議員
ごとう みつお
後藤 光雄 (2期目)

議会運営常任委員会 副委員長

♣まちづくりはひとづくり・・・

それぞれに自分の生き方をもつ市民の集合体である鈴鹿市が、今よりも住みやすく、安心して、安全に過ごせるために、経済活動の活性化はもとより、安心して子どもを産める、子どもが育つ学習環境を整えて、何をすることも鈴鹿がいい。といわれるまちづくりを目指して活動をしています。

先人の教えに「まちづくりは人づくり、人づくりはまちづくり」という言葉があります。人がまちをつくります。またまちが人を育ててくれます。

税を払い、まちづくりは行政仕事だった時代から、市民も参加するまちづくりの時代になりました。

行政の在り方を決定づける議会議員としての自覚と、より深い見識を求める努力を怠らない姿勢と、やればできるという信念を持って取り組みます。

鈴鹿に生まれて、鈴鹿に住んで、鈴鹿にやってきて、本当によかった。といえるまちづくりを目指しています。

後藤光雄 Profile

1956年(昭和31年)11月10日生

住所: 鈴鹿市寺家3丁目

TEL/FAX 387-6651

mail: goto@goto-mitsuo.net

中央大学経済学部と中京大学体育学部を卒業

現在: (学)宣真学園 第二さくら幼稚園副園長、鈴鹿市議会議員

☆平成15年4月当選後、

連続27回一般質問を実施。

「庁舎の土日開庁について」

「中学校プールの在り方」

「安心安全な市民生活について」等

<http://www.goto-mitsuo.net/>

♠温故知新

未来へのヒントは過去の歴史にあり、歴史を知ることが未来のまちづくりのために非常に大切である。そのような温故知新の観点から、先進地視察を含めた議会活動を行っております。

例えば、富士スピードウェイは旧コースの30度バンク(写真)を記念公園として残しており、それを交通安全センターの35



度バンクとして再現し、交通安全教育に活かしていました。

また、新潟市の完全米飯給食についても、過去の日本から見たら当たり前のことだとも言えますし、大間町の武道教育も昔ながらの武士道を小学校教育に取り戻す試みであります。

今後も、過去の歴史を否定するのではなく、未来へのヒントとして研究し、議会活動に活かしたいと思っております。

南条雄士 Profile

昭和48年(1973年)10月26日生

鈴鹿市高塚町出身・庄野共進在住

略歴 加佐登小学校 6年制鈴鹿中学校高等学校 中央大学法学部法律学科卒業 平成15年鈴鹿市議会議員初当選(当時29歳)

役職 鈴鹿高等学校同窓会副会長 全国若手市議会議員の会三重県支部長

特技 剣道(四段) 第58回全日本都道府県対抗剣道優勝大会三重県予選(副将の部)優勝 平成18.19.21年度鈴鹿市民剣道大会優勝

事務所 鈴鹿市岡田3-8-25 日南ビル3F TEL 059-370-7333

URL <http://www.nanjo-yuji.com>

E-Mail office@nanjo-yuji.com



鈴鹿市議会議員
なんじょう ゆうじ
南条 雄士 (2期目)

生活産業常任委員会 委員長

◆質の向上へ

昨年来の不況について、短期間で収まるものではないと考えています。いろいろな要因はありますが、少子高齢化からくる「人口減少社会」の到来、「石油ピーク」の課題、価格破壊という言葉のはじまりから現在まで続く「デフレーション」への対応、このようなことを考えても、否応なく、新しくも不透明な時代に、次の世代も含めた私たちは向かわざるを得ないと考えています。

そういう時代の中では、これまでのような「量の拡大」ではなく、私たちの生活の「質の向上」がより大切になると考えます。その中で社会の大きさを、人口も含めて身の丈にあうようにリサイズしていき、私たちの生活を良くしていくことが大切と考えています。そのためには、先の事業仕分けではありませんが、より戦略的に政策の取捨選択を考える必要があります。また、地域の人たちのがんばりが、地域をよくする方向にきちんとつながるような政治が大

切です。

議会として、議員として、これからも市民全体の活動に取り組んでいきます。

◆09年度の一般質問では、(3月)ランタン通りについて、市政方針(6月)危機管理体制、ユビキタス社会への対応 (9月)指定管理者制度、NTT跡地利用 (12月)海岸線への取り組み、休日のスポーツ外傷対応 など、広く取り上げてまいります。この他、質疑や討論も積極的に行っています。



鈴鹿市議会議員
なかにし だيسけ
中西 大輔 (1期目)

1970年(昭和45年)1月9日生

鈴鹿市南若松町在住

連絡先 TEL/FAX:368-1110

daisuke.nakanishi@gmail.com

過去の議会発言はぜひホームページを...

<http://www.daisuke-nakanishi.net/>